

【生団連通信 Vol.43】

スマートレジリエンスネットワーク 設立記念シンポジウムのお知らせ

先日の生団連通信 Vol.39 にて、再エネの導入拡大により注力していく姿勢が見られるようになってきた、日本のエネルギー政策の動向についてまとめました。

再エネの導入拡大をさらに進めていくためには、制度的・技術的な課題の他にも、その「効果的な使い方」についても考えていかなければなりません。使い方を考えることで、そこに需要が生まれ、新たな市場が生まれていきます。

再エネ活用する方法として一つ注目されているのは、「**分散型エネルギーリソース（DER）**」としての活用です。これは、地域に点在する太陽光パネルや蓄電池、電気自動車を AI や IoT といった情報技術を用いて包括的に管理・運用していくという考え方に基づいています。実現すれば、**地域内で効率的な発電や蓄電を行うことができ、再エネのコスト低下につながる他、災害発生時において使用可能な電源へのアクセスが容易になることで、地域のレジリエンス（回復力）も強化されるメリットがあります。**

こうした DER の可能性について理論・実務の両面から研究するとともに、様々な形での実現に向けて活動する団体として「**スマートレジリエンスネットワーク**」が 8 月に設立されました。エネルギー分野の研究者や有識者の他、東京電力パワーグリッド株式会社のような送配電事業者がメンバーに名を連ねており、昨年 11 月の第 2 回「エネルギー・原発問題」委員会に講師としてお越しいただいた、東京電力パワーグリッド株式会社 岡本 浩 副社長が代表幹事の 1 人となっております。

今回、スマートレジリエンスネットワークの設立記念シンポジウムが開催されるということで、生団連にもご案内いただきましたので、会員の皆様に情報共有させていただきます。

★スマートレジリエンスネットワーク 設立記念シンポジウム

「脱炭素化・レジリエンス強化に向けた DER 活用」

2020年9月14日(月) 13:00~14:30

WEBによるリモート開催

参加費：無料（事前申込制）

申込案内 URL：<https://s-reji.com/news/20200903.html>

申込期限：2020年9月10日(木)午後6時まで

リモート形式でもありますので、ご興味ございましたらぜひ事前のお申し込みの上、ご視聴ください。